

令和8年4月26日執行

佐用町議会議員選挙公報

佐用町選挙管理委員会

元消防士「のむら」の想い！

☆医療・福祉の充実

- 「現場経験から」
- ・何度も命に向き合い地域医療体制の重要性を痛感
- ・住み慣れた地域で安心して穏やかに暮らし続けたいとの切実な声
- ・通院、介護、入院入所など医療福祉体制に不安を抱える方が多くいる現実

☆子育て教育体制の拡充

- 「子育て当事者として」
- ・子育て経験から、地域によって教育や体験機会に格差があることを実感
- ・「佐用が1番」と思える環境がなければ若い世代は残らず戻らない
- ・共働き、ひとり親家庭が安心して住み頼れる環境を支える仕組みの必要性

☆地域の魅力を高め経済活性化

- 「大好きな佐用町への危機感」
- ・自然の美しさ人の温かさ「町本来の魅力」が十分に発揮されていない
- ・佐用町に対して「誇り・希望」などの想いが不足している現状
- ・災害現場や防災活動を通じて、人と人との繋がりが地域力の源

略歴	●生年月日 1971年6月26日(54才) 佐用町榑田
	●学歴 兵庫県立佐用高等学校(普通科)卒業
	●職歴 西はりま消防組合 佐用消防署 2025年退職(消防歴35年)
	●資格 救急救命士・防災士・潜水士・宅地建物取引士など



のむら
なおふみ
尚史

佐用を活かす

- 「統合ありき」の学校統廃合に反対。学校は地域の宝です
- 町独自の奨学金制度を創設します
- 安心して住み続けられる町に
- 国保税は1世帯で1万円引き下げます
- 国保税の子どもの均等割りは免除します
- 介護保険料を引き下げて、利用料は軽減します
- 高齢者の補聴器購入を補助します
- 農産物の生産に補助を拡充します

山田兼三
児玉雅善
佐用町議

武力の禁止・平和的外交を世界に
憲法9条の改悪は許しません



金谷英志
日本共産党

幸田かつじの決意

みんなでつくるう！明るく楽しく縮充の佐用町

決意を実行する3つの最重点施策

か いごをささえる福祉のまちづくり

私は要介護3~5の母を8年間介護して、介護の大変さを身をもって実感しました。高齢者の方が生きがいを持って生活できるよう福祉の充実に努めます。

つ ちかう農林業振興のまちづくり

小さな農業、大きな農業、山間地農林業、多様で多面的機能の農林業を守り、農業者の安心生産、森林管理の充実に取り組みます。

じ 世代につなぐ縮充のまちづくり

地域の豊かさ、元気づくりに町民の立場に立って、次世代につなぐ基金の有効活用を図ります。



こうだ
幸田かつじ

暮らしと地域を守ります

- 学校・公共施設のトイレに生理用品を設置
- 国保税を1世帯あたり1万円の引き下げ
- 介護保険料を引き下げ、利用料を軽減
- 高齢者の補聴器購入を補助
- 8020運動の発祥地として歯科保健事業を充実
- さよさよサービスは毎日運行。福祉タクシーの回数制限を撤廃、コミバスは休日も運行
- 町独自の奨学金制度の創設

山田兼三
鋼島裕文
元佐用町議

武力の禁止・平和的外交を世界に
憲法9条の改悪は許しません



平岡きぬえ
日本共産党

4月26日(日)は、佐用町議会議員選挙の投票日です。

みんなで投票、みんなに参加、
あなたの一票大切に。



令和8年4月26日執行

佐用町議会議員選挙公報

佐用町選挙管理委員会

皆様の「困った」が私の仕事です

- 皆様の声を聞き、同じ目線で考え、町政に反映させます。「住民のための議会」これを信条に全力で頑張ります。
- 住民の安全のため、狭い道路や見通しの悪い交差点の改善を目指します。
(佐用町では、高齢になっても生活のために車の運転が必要な場合が多く、また、災害時にも効果的です。)
- 子どもから高齢者まで一緒に参加して笑顔になれるイベントを企画します。
(心の健康には人と人との交流が大事です。いつまでも元気で暮らせることも福祉の一つと考えます。)
- 商工業の活性化や若者の起業を応援できる施策を考え、若者が定住したいと思える佐用町を目指します。
- 空き家や休耕地を活用し、若い世代が移住しやすい環境を整えます。



森脇ひろかず

【60歳】

森脇ひろかず プロフィール

昭和40年7月28日生まれ(男) 平成27年 ファミリー西播磨 代表
 昭和59年 県立佐用高等学校 卒業 令和2年 佐用町小山自治会 会長
 平成元年 南九州大学園芸学部 卒業 令和4年 佐用町議会議員選挙 初当選
 平成25年 ㈱タナック兵庫工場 工場長

誰もが誇れる縮充の町「さよう」をめざして — 教育・福祉・暮らしの充実 —

私の決意 2025年、佐用町は「縮充のまちづくり宣言」をおこないました。「小さくても少なくとも、こころ豊かでしあわせと思えるまち」を築いていくために、教育の『充』・福祉の『充』・暮らしの『充』を具体的に実効性をもちながら展開していく所存です。



やまもと のり

- 教育の『充』**
ふるさとを愛し、ふるさとを誇りに思う子どもを育みます。
- 福祉の『充』**
支え合う絆が育む温かな町づくりをめざします。
- 暮らしの『充』**
生きがいをもち働ける場の確保と地域経済の活性化を図ります。

【プロフィール】1960年 佐用町生まれ
 【学歴】佐用小学校、佐用中学校、佐用高等学校、北海道教育大学、卒業
 【職歴】西宮市立山口小学校、南光町立徳久小学校、佐用町立石井小学校、利神小学校、江川小学校
 (教頭)上月小学校、三河小学校、南光小学校(校長)南光小学校(所長)兵庫県学校厚生会西播支部
 【2025年度地域役職】栄町自治会長、佐用地域づくり協議会会長、龍山神社宮総代、
 佐用小学校学校運営協議会委員、コミュニティスクール地域コーディネーター、
 佐用町社会福祉協議会 第5次地域福祉推進計画策定委員会副委員長

若さと 情熱で

佐用を 元気に!

「佐用を元気にするために」

皆様にご声援を頂きながら3期12年 一生懸命頑張ってきました。若さと情熱に経験も加え、佐用を元気にするために全力で頑張ります。どうか引き続き、皆様のご支援をよろしくお願いいたします。



かこはら みずき

52歳

昭和48年8月12日生まれ
 岡山商科大学 経済学科卒業
 佐用町商工会青年部 部長
 佐用保育園 保護者会長
 県立 佐用高等学校 PTA 会長
 佐用町消防団 本部副団長

- ① 町民の声が届く、風通しのよい町政を。
地域住民が参加する まちづくりを目指します。
- ② 移住・定住の促進で町を元気に
人口減少に歯止めをかけるだけでなく、移住促進により新たな活力を取り入れ、地元産業の活性化を目指します。
- ③ 佐用の魅力を追求します
農林業の活性化を図り、新たな地域資源を開発し佐用の魅力づくりを目指します。
- ④ 新たな観光資源を開発し、交流人口の増加を
観光客をはじめとした交流人口の増加を目指し経済効果だけでなく、活力を生み出します。
- ⑤ 安心・安全のまちづくりを
防災・減災への取り組みだけでなく、地域の絆づくりによって助け合える まちづくりを目指します。

挑戦もできる、安心して暮らせる。 そんな佐用町へ。

私がめざすのは、子どもも、若者も、子育て世代も、高齢者も、事業者も、多くの方が安心して、いきいきと暮らし続けられる佐用町です。そして、挑戦する人が輝ける町をつくること。毎日の暮らしやすさと楽しさにつながると考えています。そのために、「稼ぐ力」「学ぶ力」「議会の力」を高め、町の未来を前へ進めます。

— 挑戦と安心を支える3つの柱

- 1 暮らしを支える「稼ぐ力」**
子育ても、健康も、介護も、安心も。暮らしを支えるには、町の稼ぐ力が必要です。ふるさと納税の振興、企業版ふるさと納税の拡大、特産品開発や販売支援、起業・副業・事業展開の後押しを通じて、町の外から稼ぐ、地元でお金が回る仕組みを強めます。若者が働きたいと思える場所を増やし、事業者が「佐用でやっていける」を思える町へ。暮らしの安心と元気を支える土台をつくります。
- 2 子どもも大人も育つ「学ぶ力」**
人が育つことが、挑戦できる空気と、暮らしの楽しさをつくる。子どもの学びはもちろん、先生や現場の声が生きていく環境を大切に、学校・地域・事業者がつながる学びを広げます。大人も学びを深め、挑戦し続けられる町をめざし、制度づくりとあわせて、楽しさと発見のある定期的な学びの場づくりにも取り組みます。
- 3 暮らしに寄り添う町政へ。**
限られた予算が、町民の安心と挑戦を支える町政につながっているのかを行政に問い続けます。予算の使い道をチェックし、子育て・健康づくり・高齢者福祉・安全安心・地域経済の活性化につながる政策を前へ。町政と議会をもっと見える化し、安心して暮らせることはもちろん、毎日に前向きさや楽しさを感じられる町政をめざします。



じゅうだ なおと

無所属 27歳

期日前投票所のご案内

場 所	期 間	時 間
・ 佐用町役場 第一庁舎西館 ・ 上月支所 ・ 南光支所 ・ 三日月支所	4月22日(水)～4月25日(土)	午前8時30分から午後8時まで
・ 三河出張所	4月24日(金)～4月25日(土)	午前8時30分から午後5時まで

※投票日当日(4月26日(日))は、投票所入場券に記載された投票所で投票してください。

令和8年4月26日執行

佐用町議会議員選挙公報

佐用町選挙管理委員会

夢を力に！ふるさと再生

私の信条 情熱と行動力で元気な佐用に！

町民の皆様、小林ひろかずは、「誰もが住みたい元気な佐用」を目指します。

元気な佐用5つの目標

1. みんながやさしくなれる町
2. みんながいいきき集う町
3. みんなの笑いが聞ける町
4. みんながうるおい受ける町
5. みんなが誇りに思う町

小林ひろかずは、行政経験と議員経験を活かし、地域の皆様の声をしっかりと市政につなぎ、様々な課題に誠心誠意取り組んでまいります。皆様の温かいご支援を心よりお願い申し上げます。

- 略歴
- ・福井工業大学卒業
 - ・佐用町議会議長、副議長、総務常任委員長、議会運営委員長
 - ・元佐用町職員



小林
ひろかず
無所属

佐用町議会議員候補

安心・安全なまちづくりをめざして！

佐用町が取り組みを進めている人口減少対策、学校規模適正化、有害鳥獣対策、耕作放棄地対策、空き家対策、健康増進・福祉対策、コミュニティの充実などの課題解決に向けて、地域の皆さまと共に取り組みを進めます。皆さまのご支援を心からお願い申し上げます。



高見
かんじ

活力ある佐用町を目指して

私はこれまで7期28年にわたり、町議議員を務めてまいりました。その間色々な出来事がありましたが、最大の出来事は「4町合併」でした。「国の財政改革の流れの中、小さな町が単独では残れない」「これまでと同水準のサービスを行うことは厳しくなる」など、小さな町としては避けて通れないものでした。

当時の議員は私を含め、合併後の旧町が少しでも良い方向で残れるよう、安易な切り捨てが行われない合併を進めようと考え行動してまいりました。

昨年、合併20周年を迎えましたが、その間に佐用町の人口は激減し、合併前の活気は感じられなくなりました。

これは佐用町だけではなく、全国的な問題でもあります。

そんな中、もう一度原点に戻り旧町ごとの良さを再確認し、合併前の町民の活力を取り戻さなければなりません。

幸いなことに佐用町の潜在能力は非常に高く、観光資源やスポーツ施設にも恵まれており、若者から高齢者まで安価で楽しめる環境にあります。これら既存の財産を活用し、「元気で活力がある佐用町」を目指します。

山本みきおは「誇りを持って、夢を持って、安心して暮らせる、元気になる町づくり」に取り組めます。



山本
みきお

ひろかが一志^{かずし}の議会活動は

現場が第一・徹底した議論

間違っている政策には反対を述べ、対案を提示する

議員として12年、休まず一般質問を継続！

- 学校の魅力化を進める。小中一貫校、さらに高校との連携を目指す
- 公共交通、特に姫新線の存続、利用促進
- 空き家の利活用、移住者支援
- 地域の誇りの醸成

住民の交流

「広業館」、「三河の舞台」など文化財・史跡の維持管理、住民のコミュニケーションの場として活用へ。

ユーカーリ植栽

予定地の住民の皆さんに納得いく説明会を開催し、外来種のユーカーリを植えることへの反対の立場の学者や、住民の皆さんの見解を十分聞くことから始めるべき。

牛舎問題

4か所の予定地での説明会（口金近・西山・中ノ原・中土居）で、どこも大半の住民の「反対」の声を聞いたはず。そもその計画に問題がある。当局の一方的な計画は否定されているので、計画そのものを根本から見直すべき。



立憲民主党 公認

ひろか
が
一志^{かずし}

4月26日(日)は

佐用町議会議員選挙の投票日です。

仕事やレジャーなどで4月26日(日)の投票日当日に投票所へ行けない方は、

4月25日(土)までに期日前投票をしましょう！

令和8年4月26日執行

佐用町議会議員選挙公報

佐用町選挙管理委員会

情熱と行動力！ そして実績！

ふるさと「佐用」が大好きです。
先人が築いてこられたこの町を、次の世代へつなげるのが、我々の世代の役割だと考えております。
その熱い情熱と、現在も多くの仲間たちと取り組んでいる地域活動や民間事業経営の経験を活かし、今後もこんな佐用町をめざします。

活動スローガン

- 次の世代へつながるまちづくり
- 農林業・商工業等の地域資源を活かしたまちづくり
- 子育てと教育の充実したまちづくり

1期目から変わらない活動スローガンは、ぶれることのない取り組みの証です

議員活動・議会活動の公務
日常生活や交流を発信しています
普段の【ちくさ和美】をご覧ください。



ちくさ 和英
58歳

生年月日 昭和42年9月10日
略歴 兵庫県立佐用高等学校卒業
大阪商業大学商経学部卒業
株式会社千種商店勤務
佐用町経営者協会 会長
佐用町商工会 理事
兵庫県ご当地グルメ協議会 事務局長

町民が主人公に！ 町民の立場で弁を發し、 町民の立場で行動し、 頑張っていきます！



おかもと 岡本よし たか

「継続は力なり」 全て誠の信念をもって 事にあたる。

私の抱負

- 若者が地元に残れる為の施策
- 工業団地を提言、副町長一人制で企業誘致
- 子育て、学童保育の支援と延長
- 産婦人科の設置
- 特産物の発掘、支援
- 地元産品を活用し、食育と学校給食の充実
- 獣害被害対策、ドローンによる
山にドングリ・山栗の植栽と侵入柵の助成

〔略歴〕

久崎小PTA会長
佐用郡PTA会長
上月町議会議員
佐用町議会議員

暮らしの現場から議会へ!!

私が大切にしたい3つの思い

① 暮らしの声を 町政へ！

働く人、子育て世代、
介護を担う家族の
声を町政に届ける
「橋渡し役」になります。

② 女性と若い世 代が暮らし続け られる町に！

子育て・仕事・介護
を両立できる環境づ
くりを進めます。

③ 小さな声を 大切にする議会 へ！

大きな声だけでなく、
遠慮してしまう人の
声にも耳を傾ける町
政を目指します。

- ◆ 一生懸命働く人
 - ◆ 子育てや介護で精一杯の人の声
 - ◆ 遠慮してしまう人の声
- が町政に届いているのだろうか。その思いから、今回の挑戦を決意しました。
社会保険労務士として働く人の声を聞いてきた経験を町政に活かしていきたいと思っています。

佐用町生まれ、佐用町育ちです。
佐用町高等学校卒業
民間企業勤務後、社会保険労務
士試験に合格し、佐用町にて開
業しています。



たむら 田村 栄子 えいこ

誠実 公平



— KOMIITO —
公明党
おお
うち
大内
ひろ
まさ

大内まさひろは めざします！

- 過疎地の更なる交通対策
- 農林、商工業の振興
- 高齢者の住みやすいまちづくり
- 縮充のまちづくり

若者が希望を持てるまち佐用
高齢者が安心して暮らせるまち佐用

日頃より、公明党に力強いご支援を賜り、心より感謝申し上げます。
皆様の真心のご支援を賜り、1期4年間、『若者が希望を持てるまち佐用』『高齢者が安心して暮らせるまち佐用』をモットーに、すべての取り組みに誠実に向き合っています。
これからも皆様のお声をしっかりと受け止め、更に全力で走り抜いてまいります。
・1956年2月16日生 ・龍野実業高等学校卒業
・ヒガシマル醤油株式会社勤務 ・好きな言葉「継続は力なり」

4月26日(日)は

佐用町議会議員選挙の投票日です。

私たちににとって身近で大切な選挙です。

きれいな選挙で住みよい佐用町を築きましょう。